HYOGO VISION 2050

Report

「兵庫のゆたかさ指標」県民意識調査令和6年調査結果

誰もが希望を持って生きられる

一人ひとりの可能性が広がる

『躍動する兵庫』

兵 庫 県

HYOGO VISION 2050 Report　はじめに

兵庫県では、2050 年頃の兵庫のめざす姿を描く「ひょうごビジョン 2050」を令和4年 3 月に策定しました。

10,000 名を超える県民の声から、県民が共有する5つの社会と 15 の将来像を描き出しています。

私たちがめざすのは、「誰もが希望を持って生きられる　一人ひとりの可能性が広がる『躍動する兵庫』」です。

「誰も取り残されず、みんなが希望を持って生きられる」という意味での「包摂」と「思い思いのチャレンジができ、一人ひとりの可能性が開ける」という意味での「挑戦」、この2つを両輪にして『躍動する兵庫』を実現していきます。

ビジョンを実現するためには、県民、企業、団体など、多様な主体が役割を分担し、補完し合いながら共に取り組む連携が欠かせません。ビジョンに共感し、共に行動する連携の輪が広がるほど、めざす姿の実現に向けた推進力は高まります。

兵庫県では、ビジョンが指し示す将来像ごとに、統計や事業量では測りきれない生活の質や豊かさを明らかにするための主観指標「兵庫のゆたかさ指標」を設定し、指標による県民意識調査をもとに、ビジョンの実現状況を毎年度点検・評価しています。

このレポートは、県民意識の動向やビジョンの推進状況、県の施策などについて広く知っていただき、より良い未来の実現のために考え、取組に参画していただくため、「兵庫のゆたかさ指標」による県民意識調査の結果をダッシュボード化して公表するものです。各地域、各分野で取組を進めていく際の参考にしていただきたいと考えています。

HYOGO VISION 2050

ポータルサイト

YouTube チャンネル

目　次

１　ひょうごビジョン 2050 の概要 ･････････････････････ 1
２　兵庫のゆたかさ指標 ･････････････････････ 3
３　令和６年「兵庫のゆたかさ指標」県民意識調査結果･････････ 5
(1)　総合的満足度 ･････････････････････ 6
トピックス　若者が輝く兵庫･････････････････････ 8
(2)　自分らしく生きられる社会 ･････････････････････ 9
自由になる働き方 ･････････････････････ 10
居場所のある社会 ･････････････････････ 12
世界へ広がる交流 ･････････････････････ 14
トピックス　2025 大阪･関西万博にかかる取組･････････ 16
トピックス　多文化共生の推進･････････････････････ 17
(3)　新しいことに挑戦できる社 ･････････････････････ 18
みんなが学び続ける社会 ･････････････････････ 19
トピックス　学びやすい社会の実現･･･････････････････ 21
わきあがる挑戦 ･････････････････････ 22
トピックス　スタートアップ支援の新展開･･････････････ 24
わきたつ文化 ･････････････････････ 25
トピックス　スポーツ･芸術文化･････････････････････ 27
(4)　誰も取り残されない社会 ･････････････････････ 28
みんなが生きやすい地域 ･････････････････････ 29
安心して子育てできる社会 ･････････････････････ 31
トピックス　妊産婦支援の強化･･････････････････････ 33
安心して長生きできる社会 ･････････････････････ 34
(5)　自立した経済が息づく社会 ･････････････････････ 36
循環する地域経済 ･････････････････････ 37
進化する御食国 ･････････････････････ 39
活動を支える確かな基盤 ･････････････････････ 41
トピックス　県民生活の安全･安心の確保･･････････････ 43
トピックス　防災･危機管理対策の充実･強化･･････････ 44
(6)　生命の持続を先導する社会 ･････････････････････ 45
カーボンニュートラルな暮らし ･････････････････････ 46
分散して豊かに暮らす ･････････････････････ 48
トピックス　地域活力の創出･････････････････････ 50
社会課題の解決に貢献する産業 ･････････････････････ 51

1 ひょうごビジョン 2050 の概要

○ 2022 年 3 月、社会が大きく変化する中、兵庫のめざす姿を改めて明らかにするため、「ひょうごビジョン 2050」を策定しました。
○ 10,000 人を超える県民の声を聴取し、県民との意見交換を重ねながら検討を進めました。

【ビジョンの概要】

基本的な性格	□県民が共にめざす姿を描く □県民が主役になり、地域から取り組む □変化を生み出し、成長する
展望年次	□私たちの子や孫が生きる30年先の2050年頃のめざす姿を描く
県政上の位置づけ	□県が進める政策の羅針盤として運用
全県と地域	□全県ビジョンと一体的に９つの地域ごとの地域ビジョンを策定

【策定の視点】

県民の想い	□多様な価値を認め、変化に柔軟に対応できる社会を □自分なりの生き方が選択できる自由度の高い社会を □人と人のつながりを育み、共に歩む「包摂」を □未来を担う次代のために社会の「持続」を
大事にしたいマインド「開放性」	□県民の想いに共通するのは、「開放性」の高い社会への強い願い □「開放性」は兵庫ならではの強みであり、今後も伸ばすべき特性 □兵庫の未来は「開放性」をキーワードに描き、取り組むものに
ビジョンの描き方	□人口減少、テクノロジーの進化など社会変化の潮流を前提にして、未来社会で営まれる生活や社会経済活動のめざす姿を描く

ひょうごビジョン 2050 が描く「兵庫のめざす姿」

2050年の
兵庫の姿

誰もが希望を持って生きられる
一人ひとりの可能性が広がる
『躍動する兵庫』

包摂 × 挑戦 ▼ 躍動

5つのめざす社会

Ⅰ　自分らしく生きられる社会	① 自由になる働き方 ② 居場所のある社会 ③ 世界へ広がる交流
Ⅱ　新しいことに挑戦できる社会	④ みんなが学び続ける社会 ⑤ わきあがる挑戦 ⑥ わきたつ文化
Ⅲ　誰も取り残されない社会	⑦ みんなが生きやすい地域 ⑧ 安心して子育てできる社会 ⑨ 安心して長生きできる社会
Ⅳ　自立した経済が息づく社会	⑩ 循環する地域経済 ⑪ 進化する御食国 ⑫ 活動を支える確かな基盤
Ⅴ　生命の持続を先導する社会	⑬ カーボンニュートラルな暮らし ⑭ 分散して豊かに暮らす ⑮ 社会課題の解決に貢献する産業

「誰も取り残されず、みんなが希望を持って生きられる」という意味での「包摂」と「思い思いのチャレンジができ、一人ひとりの可能性が開ける」という意味での「挑戦」、この2つを両輪にして『躍動する兵庫』を実現していきます。

２ 兵庫のゆたかさ指標

（１）趣旨

ひょうごビジョン 2050 が掲げる将来像ごとに、統計や事業量では測りきれない生活の質や豊かさを明らかにするための主観指標「兵庫のゆたかさ指標」を設定し、指標による県民意識調査の結果をもとに、ビジョンの推進状況を点検・評価する。

（２）調査方法（県民意識調査）

- 設 問 数 ： 48 項目（全体評価（４項目）及びめざす姿ごとの評価（各２～３項目）で構成）
- 調査期間 ： 令和６年６月 24 日から７月 24 日
- 対 象 者 ： 県内に居住する満 18 歳以上の男女個人 5,000 人（無作為抽出）
- 標本抽出及び集計方法
  - ① 住民基本台帳に記載された県民を対象
  - ② 10 の地域（県民局単位）ごとに 500 の標本数を、市町別・男女別・年齢 10 歳階級別の母集団構成比に応じて配分
  - ③ 地域ごとの有効回答数について、重み付け集計により、全県の母集団構成比を復元
- 回 収 率 ： 42.1%（2,106／5,000）
- 有効回答数 ： 2,052

（３）評価方法

調査項目ごとに５段階で得られた回答（１.そう思う～５.そう思わない 等）を肯定的なものから５点～１点に点数化し、これを 10 点満点に換算（最高点 10 点、中間点６点、最低点２点）

【県民意識調査の設問項目】

	めざす姿		調査項目（ゆたかさ指標）
全体評価	総合的生活満足度	1	あなたは、全体として、今の生活に満足していますか。
		2	あなたは、全体として、将来の生活に不安を感じますか。
		3	あなたは、住んでいる地域のことに関心がありますか。
		4	あなたは、住んでいる地域にこれからも住み続けたいですか。
自分らしく生きられる社会	①自由になる働き方	5	多様な働き方を選択しやすい社会だと思いますか。 キーワード：テレワーク、在宅勤務、フレックスタイム、副業など
		6	自分にあった職業への就職や転職がしやすい社会だと思いますか。
		7	あなたは、しごとと自分の生活の両立ができていますか。
	②居場所のある社会	8	あなたには、職場や学校、家庭以外に、安心感や充実感を得られる場がありますか。 キーワード ： サークル、スポーツクラブ、コミュニティカフェなど
		9	あなたは、住んでいる地域で、異なる世代の人とつきあいがありますか。
		10	あなたには、知人や親戚など頼りになる人が近所にいますか。
	③世界へ広がる交流	11	お住まいの地域には、自慢したい地域の宝(風景や産物、文化など)がありますか。
		12	あなたは、外国の文化や人々と接してみたいと思いますか。
		13	お住まいの地域は、外国人にも暮らしやすい環境が整っていると思いますか。
新しいことに挑戦できる社会	④みんなが学び続ける社会	14	お住まいの地域では、子どもの自ら学び考える力を伸ばす教育が行われていると思いますか。
		15	あなたには、目的を持って学んでいるものがありますか。
		16	新たな知識や技能を身につけたり、専門性をみがくために、だれもが学びたいときに学び直すことのできる社会になっていると思いますか。
	⑤わきあがる挑戦	17	若者が希望を持てる社会だと思いますか。
		18	商売、事業を新たに始めやすい社会だと思いますか。
		19	あなたは、ボランティアなどで社会のために活動していますか、またはしてみたいですか。
	⑥わきたつ文化	20	あなたは、暮らしの中でスポーツをしたりスポーツ観戦を楽しんだりしていますか。
		21	あなたは、暮らしの中で芸術文化を楽しむ機会を持っていますか。
		22	お住まいの地域では、伝統芸能・文化などが受け継がれていると思いますか。 キーワード：祭りなどの年中行事、民謡・民舞、能、歌舞伎、伝統工芸など

	めざす姿		調査項目（ゆたかさ指標）
誰も取り残されない社会	⑦みんなが生きやすい地域	23	孤立しがちな人を生まないように気にかけあう社会であると感じますか。
		24	ハラスメントの予防・解決に向けた取組が社会全体として進んでいると思いますか。 キーワード：セクシュアルハラスメント、パワーハラスメント、マタニティハラスメントなど
		25	お住まいの地域には、年齢、性別、障害の有無などに関わりなく、暮らしやすい環境が整っていると思いますか。
	⑧安心して子育てできる社会	26	子育てとの両立がしやすい労働環境が整っている社会だと思いますか。
		27	お住まいの地域には、地域で子どもを見守り育てる環境がありますか。
		28	お住まいの地域では、安心して楽しく子育てできると思いますか。
	⑨安心して長生きできる社会	29	あなたは、心身ともに健康であると感じますか。
		30	お住まいの地域には、安心できる医療の環境が整っていると思いますか。
		31	お住まいの地域は、高齢になっても安心して暮らし続けられる地域だと思いますか。
自立した経済が息づく社会	⑩循環する地域経済	32	お住まいの地域の駅前や商店街に活気があると思いますか。
		33	お住まいの地域の企業に活気があると思いますか。
		34	お住まいの地域には、優れた製品・技術・ブランド力をもった企業があることを知っていますか。
	⑪進化する御食国	35	地元や県内の農林水産業に活気があると思いますか。
		36	あなたは、地元や県内でとれた野菜、果物、魚介類、肉などの食材を買っていますか。
		37	あなたは、食品廃棄物をできるだけ出さない暮らしを心がけていますか。 キーワード：食品ロス、フードロス、食べ残し、賞味期限など
	⑫活動を支える確かな基盤	38	あなたは、家庭で災害に対する自主的な備えをしていますか。
		39	お住まいの地域は、治安が良く、安心して暮らせると思いますか。
		40	お住まいの地域の公共交通は便利であると思いますか。
生命の持続を先導する社会	⑬カーボンニュートラルな暮らし	41	お住まいの地域では、山、川、海などの自然環境が守られていると思いますか。
		42	あなたは、日頃から節電・省エネに取り組んでいますか。
		43	あなたは、製品を購入する際に、環境に配慮したものを選んでいますか。
	⑭分散して豊かに暮らす	44	あなたは、住んでいる地域に愛着や誇りを感じますか。
		45	あなたは、住んでいる地域をより良くしたり、盛り上げたりする活動に参加していますか、または参加したいと思いますか。
		46	ICT（情報通信技術）などにより、どこにいても便利に暮らせる社会になってきていると思いますか。 キーワード：ビデオ通話、テレワーク、オンラインショッピング、オンライン診療など
	⑮社会課題の解決に貢献する産業	47	お住まいの地域には、生活の不便さを補うさまざまなサービスが増えていると思いますか。 キーワード：買物代行、移動販売、配食サービス、送迎サービスなど
		48	兵庫県は、社会を先導する新しい産業が活発な県だと思いますか。 キーワード：先端医療、ロボット、環境、エネルギー、新素材、IT、航空宇宙産業など

３　令和6年「兵庫のゆたかさ指標」
県民意識調査結果

全体評価
総合的満足度について

評価の概要

○「全体として今の生活に満足か」に対する回答の平均は６.87と、総合的な満足度は高い水準にある。
○一方で、「将来の生活に不安を感じるか」については、すべての世代が５点以下で、平均4.43と、少子高齢化や人口減少、気候変動、物価高騰など、不透明な社会経済の先行きへの不安などもあり、低い水準にとどまっている。
○「住んでいる地域のことに関心があるか」については、7.56と高く、また、「住んでいる地域にこれからも住み続けたいか」については8.21と、48の設問中もっとも高い評価となった。

■兵庫のゆたかさ指標

設問１
あなたは、全体として、今の生活に満足していますか。

全体平均
6.87

性別

男女間の差はやや小さい

年齢別

年代間の差はやや小さく、全ての年代が高い

回答割合

地域別

地域による差は最大0.37とほとんどなく、都市部と地方部といった違いは見られない

設問２
あなたは、全体として、将来の生活に不安を感じますか。

全体平均
4.43

性別

男女間の差はない

年齢別

年代間の差は最大1.15とやや大きく、**50代以下の点数が低くなっている**

回答割合

地域別

地域による差は最大0.53とやや小さいものの、但馬地域が特に低い状況

全体評価
総合的満足度について

■兵庫のゆたかさ指標

設問３
あなたは、住んでいる地域のことに関心がありますか

全体平均

7.56

性別

男女間の差はほとんどない

年齢別

10,20代が、他の年代に比べると地域への関心は薄い

回答割合

地域別

地域による差は最大0.78とやや小さい。全地域で７点台となっており、地域を問わず高い点数となっている

設問４
あなたは、住んでいる地域にこれからも住み続けたいですか

全体平均

8.21

性別

男女間の差はほとんどない

年齢別

30代以上が住んでいる地域にこれからも住み続けたいと感じている人が多い

回答割合

地域別

地域による差は最大0.70と差はやや小さい。傾向としては**都市部が高い**

トピックス　若者が輝く兵庫

問１　あなたは、全体として、今の生活に満足していますか

問２　あなたは、全体として、将来の生活に不安を感じますか

全体として、今の生活に「満足」「まあ満足」と回答した人の割合は 59.1%で、「不満」「やや不満」を大きく上回っています。しかし、全体として、将来の生活に「不安を感じる」「やや不安を感じる」と回答した人が 67.5%と、「不安を感じない」「あまり不安を感じない」を大きく上回っています。

問 17　若者が希望を持てる社会だと思いますか

18～29 歳	4.20
30 代	3.68
40 代	4.38
50 代	4.38
60 代	4.72
70 代	5.05
80 歳以上	5.16

年代別では、若い世代（10 代～30 代）ほど、低い傾向にあることから、若者が希望を持てる社会の実感が薄い社会であることが浮き彫りになっています。

◆若者の人口流出・ファミリー層の転入

出典：住民基本台帳人口移動報告（総務省）

出典：住民基本台帳人口移動報告（総務省）

兵庫県の転出超過数（都道府県間移動者数）は高止まりしています。転出超過数の主な拡大要因は、幅広い業種で雇用機会があり魅力・利便性が高い大都市に人口が集中するためと考えられます。特に就職等を機に 20 歳代の若者が県外に流出（R6△7,920 人)しています。一方、良好な住環境等を背景に、ファミリー層（0～14 歳、30～40 歳代)は転入超過（R6 629 人)となっています。

こうした課題を克服し、強みを伸ばすため、若者や子育て世代を支援し、兵庫県の持続的な成長・発展をめざしていく必要があります。

若者・Ｚ世代応援パッケージ

人口減少が続く中、若者の県内定着、定住人口の増加を目指し、教育、就職、出産・子育て、住まいまでライフステージに応じた切れ目のない施策を「若者・Ｚ世代応援パッケージ」として展開

出生率が年々低下

就職・大学進学等を機に 20 歳代の若者が県外に転出

良好な住環境等を背景にファミリー層が転入超過

若者・Ｚ世代応援パッケージ

めざす姿	主な取組内容
学びやすい兵庫	○高等教育等の負担軽減 ・県立大学の授業料等無償化、奨学金の返済支援　等 ○次代を担う人材の育成 ・県立高校ふるさと共創プロジェクト、高校生チャレンジ留学の強化　等 ○教育環境の充実 ・生徒個人用ロッカー等教育用備品の整備　等
子どもを産み育てやすい兵庫	○妊娠・出産支援の強化 ・不妊治療の経済的負担の軽減、特定妊産婦等支援等 ○子ども・子育て支援の充実 ・学びの場・遊びの場プロジェクト　等 ○課題を抱える子ども･若者が安心して暮らせる環境づくり ・不登校・ひきこもり対策の強化　等
住みやすい兵庫	○子育て世帯への住宅支援 ・県営住宅の供給・入居促進、民間住宅への入居促進
働きやすい兵庫	○兵庫を支える人材の確保 ・外国人の就職・定着促進、学生の県内就職の促進等 ○多様な働き方の推進 ・ミモザ企業認定の推進　等

若者の県内定着、定住人口の増加

5つのめざす社会

自分らしく生きられる社会

めざす姿①

自由になる働き方　いろいろな働き方を自分の意思で選ぶことができ　自分なりの役割を見出せる社会

めざす姿②

居場所のある社会　みんなに人とつながれる居場所があり　孤独を感じないで暮らせる社会

めざす姿③

世界へ広がる交流　五国の多彩な魅力が人をひきつけ　国内外との双方向の交流が活発に行われる社会

自分らしく生きられる社会

自由になる働き方

■兵庫のゆたかさ指標

評価の概要

○「多様な働き方を選択しやすい社会か」はどの地域も４～５点台にとどまっている。
○「自分にあった就職や転職がしやすい社会か」についても同様に、すべての地域で４～５点台と県民の実感は低い水準で、雇用の流動性が高まっていない現状が反映されている。
○「しごとと自分の生活の両立ができているか」については平均6.72とやや高めの評価となっており、ワーク・ライフ・バランスの実現については、ある程度の実感がある。

設問５
多様な働き方を選択しやすい社会だと思いますか

全体平均 **5.48**

性別

男女間の差はほとんどない

年齢別

年代間の差は0.90とやや大きい。**18～29歳、30代が高い**傾向にある

回答割合

地域別

地域による差は最大1.18とやや大きい。ばらつきはあるが、傾向としては**都市部が高い**

設問６
自分にあった職業への就職や転職がしやすい社会だと思いますか

全体平均 **5.14**

性別

男女間の差はほとんどない

年齢別

40代が４点台と低く、転職しやすさへの実感が薄い

回答割合

地域別

地域による差は最大0.95とやや小さい。**都市部が高い傾向にある**

自分らしく生きられる社会

自由になる働き方

■兵庫のゆたかさ指標

設問７
あなたは、しごとと自分の生活の両立ができていますか

全体平均
6.72

性別

男女間の差はほとんどない

年齢別

40～60代は7点台と高く、仕事と生活の両立ができていると感じている

回答割合

地域別

地域による差は最大0.34とほとんどなく、**傾向としては地方部が高い**

■主な県の取組

○　県内企業の女性躍進推進に向け、一定の基準を満たした企業を「ひょうご・こうべ女性活躍推進企業（ミモザ企業）」に認定（R6累計：198社）
　企業の人材確保や若者の県内定着を図るため、企業と学生が交流するミモザセッションを開催（R6：157人参加）

○　県内で正社員として働きたい方と正社員採用をしている企業とのマッチングを促進する「おためし企業体験in HYOGO」を実施（ R7.2.28時点:457人参加)

○　県内中小企業の人材確保、若者の県内就職及び定着の促進のため、奨学金返済支援制度を構築した中小企業と連携し、若者の奨学金の返済を支援（R6：制度導入企業数362企業）

○　就職市場における売り手優位が続く中、中小企業の採用力を強化し、県内企業への就職を促進するため、セミナーや個別相談、モデル企業の取組紹介等を実施

○　県内企業の知名度向上と、企業研究等による県内就職への意識醸成のため、大学１・２年生を対象にワーク・ライフ・バランス認定企業やSDGs認証企業などの企業見学や成果発表会を開催（R6参加者数：66人）

R6年度 企業×ミモザセッション

中小企業採用力強化支援セミナー

自分らしく生きられる社会

居場所のある社会

■兵庫のゆたかさ指標

評価の概要

○「職場や学校、家庭以外に、安心感や充実感を得られる場があるか」については、全体平均が５点台とやや低めの評価であり、若い世代が低い状況にある。
○「地域で多世代のつきあいがあるか」については、平均は6.02だが、地域別では、神戸、阪神南、阪神北、東播磨が５点台となっており、都市部と比較して地方部が概ね高い傾向にあり、世代間交流の実感が得られている。
○「頼りになる人が近所にいるか」については、全体的に7.22と高い水準にある。

設問８

あなたには、職場や学校、家庭以外に、安心感や充実感を得られる場がありますか

全体平均

5.60

性別

男女間の差はやや小さい

年齢別

年代間の差は最大1.39とやや大きく、**若い世代が５点程度と低い傾向にある**

回答割合

地域別

地域による差は最大0.42と小さく、都市部と地方部といった違いは見られない

設問９

あなたは、住んでいる地域で、異なる世代の人とつきあいがありますか

全体平均

6.02

性別

男女間の差は0.55となっており、差は大きい

年齢別

年代間の差は最大0.65とやや小さいが、**18～29歳は異なる世代とのつきあいが少ない**

回答割合

地域別

地域による差は最大0.79とやや小さい。ばらつきがあるが、都市部と比較して**地方部が高い**

自分らしく生きられる社会

居場所のある社会

■兵庫のゆたかさ指標

設問10
あなたには、知人や親戚など頼りになる人が近所にいますか

全体平均
7.22

性別

男女間の差は大きい

年齢別

年代間の差は0.91とやや大きいが、若い世代が高い傾向にある

回答割合

いる　どちらかといえばいる　どちらともいえない　あまりいない　いない

地域別

地域による差は最大0.82と地域間での差異はあまりない

■主な県の取組

○　ひきこもり状態にある方の増加に加え、女性割合の増加といった属性の変化など、支援のあり方が複雑化していることから、ひきこもり支援連携検討会議を踏まえ、ひきこもり対策を強化し、兵庫ひきこもり支援団体等ネットワークを構築するとともに、特色あるオンライン居場所を新たに実施

○　依存症に関する正しい知識の理解を進め適切な支援や治療につなげるため、自助グループ等への活動補助や若年層、働き盛り世代向け啓発等を展開（R6補助件数：11件）

○　経済的な理由等により食事が十分にとれていない子どもたちに温かい食事を提供する「子ども食堂」について、冷蔵庫、炊飯器や食器購入費等立ち上げ経費を支援（R6支援件数：13件）

○　ウクライナ避難民の避難生活が長期化するなか、県内視察バスツアーや交流会の開催などによるコミュニティ形成の促進や自立に向けたセミナー等を実施
（R6バスツアー、交流会等参加者数：延べ約70名
　セミナー参加者数：延べ約30名）

依存症相談窓口
PRポスター

子ども食堂

自分らしく生きられる社会

世界へ広がる交流

■兵庫のゆたかさ指標

評価の概要

○「自慢したい地域の宝があるか」については、平均は6.23とやや高めではあるが、どの地域も７点台に届かず、地域資源を活かしながら新たな魅力を創出していく取組が望まれる。
○「外国に文化や人々と接してみたいか」については、高齢世代では低い傾向。また、地域別では都市部が比較的高い傾向にある
○「外国人にも暮らしやすい環境か」については、平均5.57となり、在留外国人数の多い都市部でもやや低く、外国人県民の生活環境の充実をさらに進めていく必要がある。

設問11

お住まいの地域には、自慢したい地域の宝(風景や産物、文化など)がありますか

全体平均

6.23

性別

男女間の差は大きい

年齢別

年代間の差は最大1.00とやや大きいが、**80代以上が５点台と低くなっている**

回答割合

地域別

地域による差は最大0.77とやや小さい。神戸と北播磨は５点台と低い

設問12

あなたは、外国の文化や人々と接してみたいと思いますか

全体平均

5.99

性別

男女間の差は大きい

年齢別

年代間の差は最大1.76と大きい。**70代以上の世代は６点未満と低くなっている**

回答割合

地域別

地域による差は最大0.68とやや小さい。ばらつきはあるが、傾向としては**都市部が高い**

自分らしく生きられる社会

世界へ広がる交流

■兵庫のゆたかさ指標

設問13
お住まいの地域は、外国人にも暮らしやすい環境が整っていると思いますか

全体平均
5.57

性別

男女間の差はやや小さい

年齢別

年代間の差は最大0.50とやや小さい

回答割合

地域別

地域による差は最大2.06と大きい。傾向としては**都市部が高い**

■主な県の取組

○　「ひょうごフィールドパビリオン」について、ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ提供者やサポート人材の育成等によるコンテンツの磨き上げ、ファムトリップの実施や国内外の旅行博へ出展するなどプロモーションを展開したほか、500日前イベント等により万博開催に向けた機運醸成の取組を推進（認定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ(R7.1.28時点:260件)、ﾌﾟﾚﾐｱ･ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ(R7.1.28時点:9件)

○　兵庫テロワール旅を基軸としたHYOGOブランドの確立に向け、地域に根差した食や文化、歴史的背景等を体験する「兵庫DCアフターキャンペーン」（R6.7～9）を開催（期間中県内宿泊者数：447万人（前年比111%））

○　淡路島における受入拠点の魅力アップのため、淡路交流の翼港でのクルーズ船の受入環境向上や、夢舞台温室にて展示内容の更新や館内設備老朽化のため大規模修繕を行ったほか、瀬戸内大交流圏の形成に向け、姫路港と香川県（直島）・岡山県（犬島）を結ぶ周遊クルーズ実証実験を実施

○　外国人留学生の採用を検討する県内企業や留学生本人からの相談に対応し、採用から採用後の職場定着までを支援する「外国人留学生採用ワンストップ相談窓口」を開設（R5相談件数：430件）

ひょうごフィールドパビリオン
海外プロモーション

兵庫DCアフターキャンペーン
オープニングイベント

トピックス　2025大阪・関西万博にかかる取組

問11 お住まいの地域には、自慢したい地域の宝(風景や産物、文化など)がありますか

「ある」「まあある」と回答した人の割合は 40.9%で、「ない」「あまりない」の 32.1%を上回っていますが、平均値は 6.23 とほぼ中間点にとどまっています。

◆地域への愛着や誇り－シビックプライド

自慢したい地域の宝が「ある」「まあある」と回答した人の 77.2%が、住んでいる地域に愛着や誇りを「感じる」「まあ感じる」と回答しています。

※「ない」「あまりない」と回答した人については 41.3%

問 44　あなたは、住んでいる地域に愛着や誇りを感じますか

地域への愛着や誇りーシビックプライドは、地域の一員として、地域を良くしていきたい、地域に住み続けたい気持ちへとつながっています。

◆地域に住み続けたい

住んでいる地域に愛着や誇りを「感じる」「まあ感じる」と回答した人の 89.9%が、住んでいる地域にこれからも「住み続けたい」「まあ住み続けたい」と回答しています。

問4　あなたは、住んでいる地域にこれからも住み続けたいですか

◆地域の魅力の発信

地域の魅力を磨き上げ、発信することで、シビックプライドが高まるとともに、観光などで訪れる交流人口が増加し、人々の交流や関わりにより地域の魅力や活力が一層高まっていく。このような好循環を構築していくことが、持続可能な地域づくりにつながっていきます。

万博のレガシーを兵庫の未来へ継承

ひょうごフィールドパビリオン

○ ひょうごフィールドパビリオンの展開

・万博期間中の誘客に向けた戦略的プロモーションや、ネットワーク強化、商品化支援等の万博後の継続も見据えた磨き上げを展開

・また、万博に向けた取組の振り返り、課題の洗い出しを実施するとともに、効果検証を行い、万博後の継続に向けた在り方を検討

○ 万博会場でのイベント開催

イベント	日時	内容
ひょうごフィールドパビリオンウィーク	R7,5/20～5/25	FP フェス前夜祭(兵庫の酒や交通事業者の取組等を発信)
ひょうごフィールドパビリオンフェスティバル 2025	R7,5/26～5/30	FP プレイヤーが一堂に会し、地域の魅力を発信
ひょうごフレンドシップウィーク	R7,9/24～9/29	他府県と連携して地域資源等を発信

○ ひょうご楽市楽座

兵庫五国の魅力発信と交流人口の拡大を図るため、万博期間中に設置される「尼崎万博Ｐ＆Ｒ駐車場」利用者(最大約１万人/日)を主なターゲットに、ナイトマーケットをイメージした「ひょうご楽市楽座」を開催

（実施内容：兵庫五国の県産品ﾏﾙｼｪ、FP の PR、県内各地のﾌﾟﾚｲﾔｰによるｽﾃｰｼﾞｲﾍﾞﾝﾄ等）

○ ひょうご EXPO41（市町の日）

万博期間中、１市町１日で地元市町や万博会場で魅力を発信

○子ども招待プロジェクト

公民連携により学校行事として県内の子どもたちを万博会場へ招待

トピックス　多文化共生の推進

問12　あなたは、外国の文化や人々と接してみたいと思いますか

問13　お住まいの地域は、外国人にも暮らしやすい環境が整っていると思いますか

外国の文化や人々と接してみたいかについては、70 代以上が低い傾向にある。
外国人にも暮らしやすい環境が整っているかについては、肯定的な回答が全体の21.6%に留まり、全年代において、低い点数となっている。

出典：日本学生支援機構「外国人留学生在籍状況調査結果」

◆留学生数の推移

コロナ禍で減った留学生数も回復傾向にあるものの、依然として、令和２年度以前の人数にはほど遠い

◆外国人労働者

平成 27 年より、外国人労働者及び外国人を雇用する事業者数は増加している。令和６年 10 月末時点で、外国人労働者は 66,165 人（前年同期比+8,790 人）、外国人労働者を雇用している事業者数 11,235 人（前年同期比+923 事業所）となっており、どちらも平成 27 年以来、最高の数字となっている。

出典：兵庫労働局
「『外国人雇用状況』の届け出状況まとめ」

多文化共生社会の実現に向けた検討

○　多文化共生社会検討実務者会議

県、市町、有識者等で構成する外国人施策に関する実務者会議を設置し、ヒアリング調査の実施等により福祉・住宅・教育・人権など多岐にわたる外国人住民の生活面での課題について検討

外国人の就職･定着促進

○　ひょうご外国人雇用企業認定制度

多文化共生の推進に向けて、外国人が安心して就職・定着できるよう、外国人を雇用する県内企業の取り組みをチェックリスト方式で見える化

・対象企業：県内に本社のある中小企業
・認定数：100 社を想定（Ｒ７年度）
・ﾁｪｯｸﾘｽﾄ項目：法令遵守、労働環境、エンゲージメントの向上等

○　外国人留学生等に対する県内企業魅力発信

県内外の外国人留学生等と県内企業とのマッチング機会を創出し、外国人留学生等の県内就職に向けた支援を展開

・外国人採用ジョブフェアの開催
海外で学び日本での就職を希望する外国人大学生等を対象としたジョブフェアを開催（開催場所：ベトナム）

・首都圏開催合同企業説明会における「ひょうごストリート」の設置
外国人留学生が多く在籍する首都圏開催の合同企業説明会に兵庫県エリアを設置